

英語科 公開授業・授業研究会

授業者 沼田市立沼田中学校 角田 厚 教諭
平成26年10月21日(火) 第2学年



教科書の題材について、自分の考えを英語で表現する力を伸ばすための授業を公開しました！



県内各地から多数の参加者があり、授業を参観していただきました。また、授業研究会では、お互いの意見を積極的に出し合い、様々な考えを共有する機会を持つことができました。



【題材】

『セヴァンの生き方やガンジーの言葉を理解し、自分の生き方を書こう』
(Sunshine English Course 2 : Program 7 If You Wish to See Change)

【本時のねらい】

個人やグループで、本文内容に関する英文を作成する活動を通して、セバンの経験や意見をより深く理解し、それに対する自分の考えを書くことができる。

【伸ばしたい資質・能力】

- ・セバン・カリス＝スズキについて書かれた、まとまりのある英文の概要を正しくとらえる力
- ・教科書本文をモデル英文として参考にしながら、自作の英文を作成する力

【手立て】

- ・教科書の内容理解を深めさせる活動の工夫
- ・読み取った内容に対する自分の考えを書かせる活動の工夫



授業の様子①

1. あいさつ・ウォーミングアップ



October 21st.

Stand up!
What's today's date?

Don't be shy. Let's study English as usual.
Try to do crisscross game, please.



It looks hungry.

毎時間、授業のはじめに継続して既習事項を活用した活動を取り入れることで、生徒の英語学習への意欲を引き出すとともに、既習事項をリズムよく復習できます。

2. 学習課題の確認

【学習課題】

- 本文の内容に関するTF問題を作ろう。
- セヴァンの意見に対する自分の意見を書こう。

We have two goals in this lesson.
Please keep them in your mind.



【Today's Goal】

- 本文の内容に関するTF問題を作ろう。
- セヴァンの意見に対する自分の考えを書こう。

3. 前時の復習(教科書の音読)



Repeat after me.



Big voice. Come on.

教科書の音読が、生徒にとって良質な英語のインプットになり、それが英語を書いたり、話したりするアウトプットにつながります。慣れてきたら、顔を上げ、できるだけ教科書から目を離して音読することで、英語を自分の言葉として使うための練習ができます。

4. 本文の内容理解

- (1) 一人一人で作成した英文について



①モデル英文の提示



②英文作成の指示



③個別の作文指導



④辞書の活用を指示

- (2) 個々に作成した英文をグループで共有



英文の内容の確認を指示



グループでの意見交換の場を意図的に設定し、生徒同士で作成した英文について、意見を伝えあったり、この後の活動の準備をしたりすることによって、表現力の向上と自ら英語を学ぶ姿勢を身に付けさせたいと考えました。

授業の様子②

(3) 作った英文を発表 (TFを通じて理解を確認)



グループの代表者が英文を読み、全員がTF問題に答えました。

Read your TF question.
What do you think?
True or False.

The Earth Summit was a small event.
It's false.

5. 教師が提示する英文について、自分の考えを英語で作成

This is my TF question.
What do you think about it?
Write your opinion with your reason.



教師の示した英文について、自分の考えを理由とともに書きました。



6. 本時の学習の振り返りとまとめ



I'll introduce your opinion.
It is false because they rely on imports.

英文を、紹介しながら、本時に学習したことを確認しました。

【授業研究会での意見】

<よかった点>

- ・教師が示したモデル文を生徒が参考にしながら、英文を作成する姿が見られた。
- ・作成した英文をグループで共有する時間を確保したことで、生徒が一人一人で英文の作成に意欲的に取り組んでいた。
- ・理由を含めて英文を書かせることで、教師がねらいとする英文に近づくことができた。

<改善点>

- ・なぜ、この活動をやめるのかを生徒に理解させるべき。
- ・教師が生徒にどのような英文を作成させるのかを、明確にしておく必要がある。
- ・手立てが2つあり、活動が盛りだくさんになって、時間が足りなかった。1つに絞り込むべきだった。



【参加者の声】

- ・TF問題を生徒が作成するというのを、今まで考えたことがなかった。参考にしたい。
- ・話す活動だけではなく、書く活動がバランスよく授業内に取り入れられていた。
- ・生徒に目指すゴールを示し、それを達成するためには、どんな練習をしておけばよいかといった、課題の提示の仕方を工夫することが大切である。
- ・授業研究会で、様々な意見をシェアするだけでなく、最後にまとめや授業者の振り返りがあり、次の実践の方向性が見えた。

【授業者の感想】

生徒は、「書くこと」に関しては比較的得意であり、その実態を踏まえた上で、本時のねらい、伸ばしたい資質・能力、言語活動を設定しました。

生徒が本時で実施した言語活動を通じて、自分の考えを英語で書けるようになるためには、改善すべき点が多くあることに気付きました。

本日、ご指摘いただいたことを、これからの実践に活かしていきたいと思います。

